

「みさきマグロ」のランチと「城ヶ島」散策



梅雨の時期であったが曇りの中神奈川県外からの参加者も加わり総勢41名にて挙行された。三浦半島の先端にある京急三崎口駅よりバスにて城ヶ島に向かった。バスは、定員60名につき一度に全員が乗車すると満員になることも予想され急遽予定より早い先行組と予定通りの後発組に分乗して出発した。



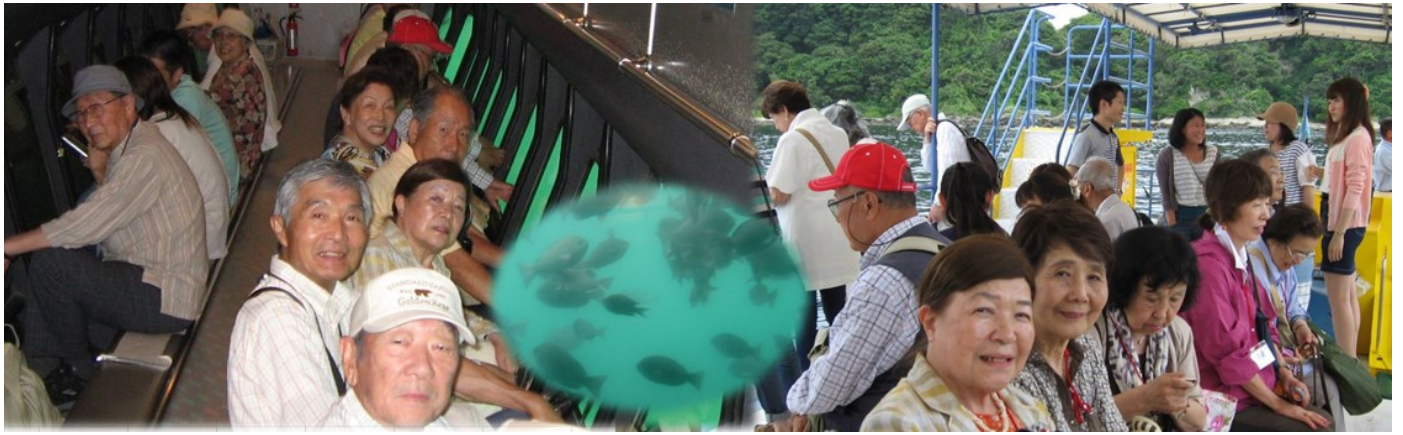
白秋碑前のバス停から城ヶ島公園までの通路脇に紫、赤等のアジサイが満開となって我々を楽しませてくれた。展望台では千葉房総半島が間近に見え近いことが実感できた。この公園にある木々は一方方向に斜めに傾いており日頃風が強いことを実証していたが、当日は風もなく雨も殆どなく絶好の天候に恵まれ1時間余りの散策を楽しめた日であった。



次の目的地の三崎港にはバスに分乗して向かった。港の中心にある「うらり」（産直センター）の近辺で「みさきマグロ」のランチを食べるに当たり、下見の予想から10名未満に分散して「マグロの寿司、丼ぶり」などを堪能してもらった。使用した店は5～6店であったがいずれの参加者も概ね「マグロが良かった、さすが三崎だ。他の魚介類も新鮮だった。」との声が多く寄せられていた。

食後は3班に分かれて行動することになった。この企画は神奈川県でも初めてであり分散するので運営が予定通りに行くか懸念されていたが無事に終了できた。

中でも水中観光船が29名の参加者を数えていた。曇り空のため海水の透明度がやや少なかったようだが水中展望室より多くの魚が乱舞するのを見られたとのことであった。



ガラス工芸館には3名の参加でしたが手作りしたトンボ玉はこの世にたった一つであり記憶に残るものでしたとの声があった。

「チャッキラコ」はユネスコ無形文化遺産になっておりビデオと説明により歴史の重さを実感できた。その後推定800年のイチヨウの木が境内にあり、三浦総鎮守である「海南神社」を訪れた。

再度「うらり」に再集合のうえ解散した。解散まで殆ど雨に合わず全員が何事もなく終了できたのは良かったと思う。尚、多くの参加者が「うらり」にて魚介類の土産を買い求めていた。



帰路京急横須賀中央駅に途中下車して恒例の二次会を開催した。駅に到着するころより雨が本降りになってきていた。15名の参加を得て本日のイベントの楽しい思い出、各種話題が沸騰して時間を忘れさせてくれた。参加者の全員が何らかの思い出を持って帰路に着かれたと確信しております。



本企画が計画通りに進められ無事終わったことは参加者のご協力の賜物でありまたいろいろな面でWGメンバーが支援いただいたことが運営を支障なく完了できたことと思ひ感謝申し上げます。

文章 木村 一雄
写真 奥村 進 富山 友次
編集 富山 友次